

花見川区支え合いのまち推進計画の推進状況（令和6年度）総括表

資料 3

◆基本方針別取組状況

【達成状況の目安】◎：年度目標以上のものが達成できた   ○：年度目標が概ね達成できた  
△：年度目標の一部が達成できた   ×：年度目標が全く達成できなかった、又はほとんど達成できなかった

基本方針		重点取組項目		重点取組項目以外の取組項目数	主な取組内容（重点取組項目以外の取組みも含む）
		項目数	達成状況		
1心身の健康と交流の場づくり	8	◎	0	0	・交流の場として、ふれあい事業の実施（いきいきサロン、子育てサロン、散歩クラブ、食事サービス）内容の充実を図り、参加者が増えている。サロンの運営は行政やあんしんケアセンター、花見川いきいきプラザ・センターの協力を得て実施している他、ボランティアも多く関わってくれている。 ・子供を対象とした活動として「フードパントリー」「夏休みカレー食堂」「もちつき大会」を企画し、いずれも参加者が増え、成果をあげた。 また、「こども防災教室」や高齢化社会の諸問題をクイズ形式にした「みんなで歩いてビンゴ」で実施し、楽しく学べる場を提供した。 ・「福祉まつり」「福祉フォーラム」「障害者バス旅行」「介護予防教室」「食と子育て」等、地域住民、学校、福祉関係施設、福祉団体、ボランティアの連携、協力のもと、広い世代に福祉に触れる機会を設けた。
		○	6		
		△	1		
		×	1		
2支え合い、助け合いのできる地域社会づくり	14	◎	0	0	・要支援者等への生活支援のための活動（買い物、ゴミ出し、外出の支援等）の実施。主な活動として、家具の移動、電灯の交換、粗大ごみの搬出、掃除など実績あり。福祉施設の送迎車を利用した買い物支援事業を月に1回定期運行している。 ・要支援者等への見守り活動の実施。見守り対象者の現状の把握に努めた。 ・避難行動要支援者名簿に基づき、要支援者宅の家庭訪問を実施。 ・災害時の備えのために、防災マニュアルの整備や地域指定避難所施設、非常用井戸の登録、LPG発電設備設置を実施。 ・地域でのイベント参加。敬老会、町民体育祭、花園ハスマつり、区民祭り、特別支援学校主催のミニ集会、授業参観などを通じて、顔の見える関係づくりに努めた。 ・多様な主体との連携強化のため、地域ケア会議、地域運営会議、学校評議会、公民館運営懇談会に出席。
		○	11		
		△	2		
		×	1		
3地域情報の発信と人材発掘・育成の仕組みづくり	7	◎	0	0	・地域福祉情報発信のため、広報紙、ホームページ、SNSの内容を充実させた。 （広報紙紙面の構成の刷新、地区の文化祭でのパネル展示、ホームページの内容更新、メールマガジンの発行） ・健康体操教室を開催し、高齢者の介護予防に努めるとともに、担い手のスキルアップや担い手の確保の目的を果たした。 ・地域住民やこどもに地域福祉活動の体験の場として、子供たちの居場所「花見川こどもカフェ」の活動を継続。
		○	3		
		△	3		
		×	1		
4安全・安心なまちづくり	2	◎	0	0	・身近な災害への備えとして避難所運営委員会による避難所開設訓練に参加。 ・自然災害対策に関するアンケート調査を実施。アンケート調査をもとに、マニュアル未整備の自治会に対し、「防火防災組織と任務分担」マニュアルを提供した。 ・防災、防犯パトロールの実施。 ・自治会単位での防災訓練の実施。 ・小学校のセーフティウォッチャーを担い、通学路の安全対策に努めた。
		○	2		
		△	0		
		×	0		
今年度の振り返り	31	◎	0	0	・交流の場づくりとして、いきいきサロン等の開催状況はおおむね目標が達成できた。また、柏井地区のふるさと祭りも4年ぶりに復活開催された。一方で少子高齢化の影響により、こどもの少ない地域では、こどもカフェを立ち上げたものの、参加者が少ないことも課題として残る。 また、様々な取り組みの参加者や担い手を募る手段として、SNSやホームページでの情報発信について改めて見直された年でもあった。
		○	22		
		△	6		
		×	3		

今後の課題と方針	全体的に、地域福祉活動の担い手不足が大きな課題となっている。特に助け合い活動では、独居高齢者が増え、支援要請も増えてきている。支援を行うボランティアの高齢化により担い手が不足しており、新たなボランティアの確保が必要となる。 また、自治会への若い世代の未加入が増えて、自治会の弱体化が懸念されている。防災活動や敬老会、こども会など、自治会主導で実施されるものだが、単位自治会が広く合同で行うなどの検討が必要である。 今後は地区部会や町内自治会に限らず、地域福祉活動の多様な主体と連携し、社会資源の活用と新規事業の掘り起こしに取り組んでいきたい。
----------	---

◆区支え合いのまち推進協議会開催状況

回数	開催日	主な議題
第1回	8月6日（火）	・委員長・副委員長の選任について ・第5期花見川区支え合いのまち推進計画の進捗状況（令和6年度）について ・花見川区支え合いのまち推進計画の進捗状況（令和5年度）の提出について ・第5期支え合いのまち千葉推進計画 中間見直し版について
第2回	12月17日（火）	・第5期花見川区支え合いのまち推進計画の進捗状況（令和6年度）中間報告について ・花見川区支え合いのまち推進協議会だより（第26号）原稿案について ・支え合いのまち推進計画の令和5年度の推進状況について【再掲】
第3回	令和7年 3月10日（月）	・第5期花見川区支え合いのまち推進計画の進捗状況（令和6年度）実績報告について ・花見川区支え合いのまち推進協議会だより（第26号）の発行について

◆区支え合いのまち推進協議会だより発行状況

号数	発行日	発行部数及び主な配布先
第26号	令和7年 3月19日（水）	発行部数：6,000部 主な配布先：各町内自治会へ郵送、窓口配布270部

◆区の地域福祉に関する紹介事例等

検見川地区部会 『ふれあいサロン検見川』

検見川地区部会では、毎月第3金曜日に「ふれあいサロン検見川」を検見川公民館で開催しています。  
70歳以上の方を対象に、健康に関する測定や専門家のお話、季節の工作やビンゴゲームなど工夫を凝らした内容で、地域の高齢者の交流の場として親しまれています。

この日（令和6年12月20日）は、あんしんケアセンター職員から防犯に関してのお話があり参加者の方々はうなずきながら聞いていました。その後、新年の千支のへびをモチーフにした飾りをつくり、材料を切ったり貼ったり、周りの方と見せ合ったり、和気あいあいとした時間となりました。最後は毎回恒例になっている歌の時間で、参加者からのリクエスト曲をみんなで歌い終了となりました。初めての方でも気軽に参加できる、楽しいサロンです。





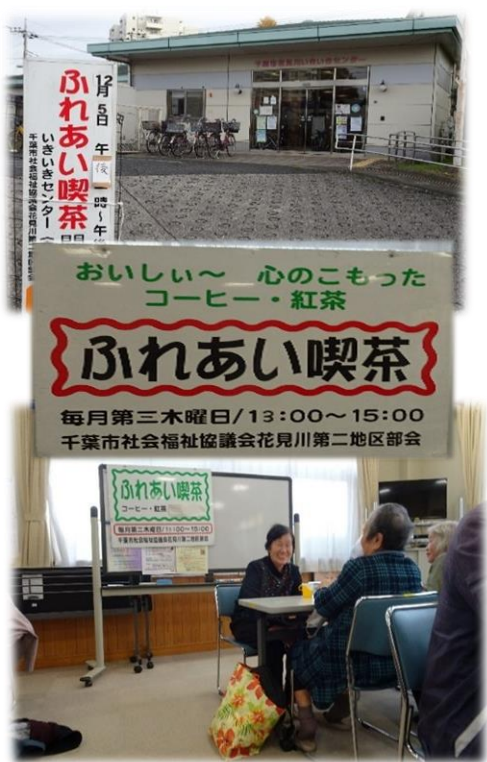
## ◆区の地域福祉に関する紹介事例等

### 花見川第二地区部会『ふれあい喫茶』

花見川第二地区部会では、毎月第2木曜日に「ふれあい喫茶」を花見川いきいきセンターで開催しています。開催時間中の出入りは自由で、好きな時間に来ることができ、地区部会の方が美味しいコーヒーや紅茶を入れてくれます。高齢者だけではなく、世代を超えたふれあいの場として、コロナ禍前は、児童とその母親なども一緒に参加されていました。

また、コミュニティ形成の場として、「ふれあい喫茶」で顔見知りとなり、新たな繋がりのできかけになっています。

この日（令和6年12月5日）のふれあい喫茶では、和やかな雰囲気の中、コーヒーや紅茶を飲みながら各テーブルでおしゃべりに花が咲いていました。参加者の方々は、次回にまた会えることを楽しみにしていました。



### あんしんケアセンター幕張『たんぽぽ広場秋の収穫祭』

地域にある「たんぽぽ広場」の一角をお借りし、民生委員さんのご協力も得ながら、高齢者と共に月に1度、花や野菜を植える活動をしています。広場には、近隣の保育園児も外遊びに来ており、高齢者と保育園児の交流できる場となるよう、また多世代交流の場として多くの方に活動を知っていただけるよう、「収穫祭」というイベントを企画しました。令和6年11月19日、広場で育てたカブやラデッシュ、さつまいもを収穫し、バルンアート、紙芝居、折り紙、シャボン玉等も企画し、皆さんで楽しみました。3か所の保育園児に加え、地域住民の方々、小さなお子さん連れのお母さん、民生委員の方々、地域で働く福祉関係職員など、総勢100名以上の方々にご参加いただきました。今後も、園芸作業を通じて、高齢者や園児のみならず、地域の方が気軽に交流を持てる場所となるよう活動を続けていきます。



### あんしんケアセンターさつきが丘『エンジョイさつきが丘』

令和6年10月より、さつきが丘地区で健康づくり教室「エンジョイさつきが丘」がスタート、健康意識の維持・向上を目的に、年3回「健康づくり」にまつわる活動を企画しています。初回は、ポッチャ体験を開催し、15名の高齢者の方々にご参加いただきました。ルールの説明を受けた後、3対3の団体戦を行いました。どうすれば相手よりボールを近づけられるか、仲間同士で作戦を練ることも脳トレになります。「あの位置を狙ったらどう?」「すごい!すごい!」と声をかけ合い、交流することもできました。終了後の健康意識調査では、参加のきっかけは「健康維持・体力づくり」が最多、参加したことによって感じた良い効果は「気持ちや意識」が最多でした。また、「交友関係」に良い効果があったと感じた方も多く、健康づくりは、体力向上はもちろん、気持ちや意識、仲間づくりにも効果を感じている人が多いことが分かりました。



### 地域住民等『ふみこさんの家』

幕張にある古民家で、空き家を活用した取り組みが行われています。人と人との繋がれる居場所づくりを目的に毎月第2・4水曜日に地域住民に開放されています。所有者の名前にちなんで「ふみこさん家」と名付けられ、事前連絡不要で自由に出入りができ、どなたでも参加可能です。初めての方やお一人の方でも、おしゃべりや庭いじり、手作業、体操などをしたり、何もなかったり、好きなように時間を過ごすことができます。

令和6年11月27日は、ボランティアの方々による介護予防体操から始まり、脳トレ、歌、朗読の時間の後、おしゃべりや手作業など、それぞれ自由に楽しんでいらっしゃいました。

毎回、みなさん心まちにしている、アットホームな居場所となっています。



### 上の台小学校避難所運営委員会・花見川区役所

#### 『避難所開設・運営訓練』

令和6年11月20日、上の台小学校にて、花見川区避難所開設・運営訓練を実施しました。避難所運営委員会の皆さんを中心に、地域の方々にもご参加いただきました。避難所の開設訓練としては、避難者の受付方法の確認をはじめ、マンホールトイレの設置方法、段ボールベッド、電気自動車を使った給電等の設備について学びました。また、会場内では災害時に役立つ知識として、花見川消防署による応急手当講習や、赤十字奉仕団による、「着る毛布」、「新聞紙でスリッパ作り」などを体験できるブースも設けられました。参加者は、熱心に訓練に参加され、地域の防災意識の高さを感じました。避難所においては、住民主体による運営と住民同士の助け合いの精神が重要であると感じた、訓練内容となりました。

